

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年	2年
教科など名		特別活動(ホームルーム活動)		グループ名	A組
ねらい		・規則正しい生活リズム、学習に取り組む態度を身に付ける。 ・目標をもって活動に取り組み、充実感や達成感を味わう。 ・係活動や自己の役割に責任をもって取り組み、自己肯定感を高める。			
担当教員		○高垣 淑 小林 加奈子			
予定授業時数		35			
使用教科書					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5 6 7	・2年生の生活を知ろう(オリエンテーション) ・個人目標を決めよう ・インターンシップ事前事後学習 ・1学期を振り返って夏休みの過ごし方を考えよう	○	・高など部生活の流れやルールについて ・個人目標を決める ・インターンシップについて ・1学期の学校生活の振り返り、夏休みの過ごし方について	・高など部2年生の流れを知ることができる。 ・目標を決め、目的意識をもって継続的に取り組むことができる。 ・インターンシップについて知り、目標に対して、取り組んだ活動を振り返ることができる。 ・目標がどれくらい達成できたかなどを視覚支援などで振り返ることができる。 ・夏休みの目標を決め、健康で安全な生活を送ることができる。	・視覚的な支援を適宜取り入れる。 ・具体的に分かりやすい言葉で、生徒自身のやる気や言葉を引き出せるように支援する。 ・目的を意識させ、繰り返し指導する。 ・目標などの達成度を生徒自身が理解できるような言葉や表示を提示する。 ・学校生活、社会生活における基本的なルールを事前に生徒自身と確認する。
9 10 11 12	・個人目標を決めよう ・現場実習事前事後学習 ・修学旅行事前事後学習 ・2学期を振り返ろう ・冬休みの過ごし方を考えよう	○	・個人目標を決める ・現場実習について ・修学旅行について ・2学期の学校生活の振り返り、冬休みの過ごし方について	・目標を決め、目的意識をもって継続的に取り組むことができる。 ・現場実習について知り、目標や持ち物を意識できる。 ・修学旅行の行先である名古屋の歴史や文化について理解を深めることができる。 ・目標がどれくらい達成できたかなどを視覚支援などで振り返ることができる。 ・冬休みの目標を決め、健康で安全な生活を送ることができる。	・行事などの活動を通して、自分を大事にし、周りの人と協力し合えるような雰囲気づくりをしていく。 ・タブレット端末を用いて活動の内容を分かりやすく提示する。
1 2 3	・個人目標を決めよう ・修学旅行事前事後学習 ・主権者教育 ・3学期を振り返ろう	○	・個人目標を決める ・修学旅行について ・選挙の基本や仕組みについて ・3学期の学校生活の振り返	・目標を決め、目的意識をもって継続的に取り組むことができる。 ・修学旅行を振り返り、名古屋の歴史や文化について理解を深めることができる。 ・誰に投票するのかを自分で決め、投票の方法を知ることができる。 ・3年生の流れを知り、全体的なイメージをもつことができる。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年	2年
教科等名		特別活動（ホームルーム活動）		グループ名	B組
ねらい		・好ましいコミュニケーション方法を意識して、良好な人間関係を築く。 ・目標を意識した行動をし、好ましい態度を身に付ける。 ・係活動を通して役割を果たす気持ちを養う。			
担当教員		○木村 克久 寺田 直子			
予定授業時数		35			
使用教科書					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5 6 7	・2年生の生活を知ろう (オリエンテーション) ・個人目標、係活動を決めよう ・インターンシップ事前事後学習 ・1学期を振り返って夏休みの過ごし方を考えよう	○	・高等部生活の流れやルールについての確認 ・個人目標や学級目標、係活動決め、掲示物の作成 ・インターンシップについて ・1学期の学校生活の振り返り、夏休みの過ごし方について	・高等部2年生の生活の流れを知ることができることができる。 ・学校生活の基本的なルールを確認することができる。 ・目標を決め、目的意識をもって行動することができる。 ・係活動を決め、継続的に取り組むことができる。 ・自分の考えを伝えたり友達の意見を聞いたりすることができる。 ・1学期の学校生活を振り返る。 ・目標が達成できたか、なぜできなかったかなどを自分で振り返ることができる。 ・夏休みの生活で留意することを確認する。どのように過ごすのか自分で考えることができる。	・視覚的な支援を適宜取り入れる。 ・具体的に分かりやすい言葉を提示しながら生徒自身の意思や言葉を引き出せるように支援する。 ・達成感を感じられるように、具体的な目標設定をする。 ・季節ごとに留意することについてヒントを出しながら考えさせる。 ・達成できなかった目標については、どのようにすると達成できるかを考えるヒントを出す。
9 10 11 12	・個人目標、係活動を決めよう ・現場実習事前事後学習 ・修学旅行事前事後学習 ・2学期を振り返ろう ・冬休みの過ごし方を考えよう	○	・個人目標や係活動決め、掲示物の作成 ・現場実習について ・修学旅行について ・2学期の学校生活の振り返り、冬休みの過ごし方について	・目標を決め、目的意識をもって行動することができる。 ・係活動を決め、確実に取り組むことができる。 ・自分の考えを伝えたり友達の意見を聞いたりすることができる。 ・修学旅行をの行先である名古屋の歴史や文化について理解を深めることができる。 ・行程の見通しをもつ。集団生活でのルールやマナーを知ることができる。 ・2学期の学校生活を振り返る。目標を自分で振り返ることができる。 ・冬休みの生活で留意することを確認することができる。	・達成感を感じられるように、具体的な目標設定をする。 ・季節ごとに留意することについてヒントを出しながら考えさせる。 ・達成できなかった目標については、どのようにすると達成できるかを考えるヒントを出す。 ・ICT機器を使って、ルールについて確認する。
1 2 3	・個人目標、係活動を決めよう ・修学旅行事後学習 ・主権者教育 ・3学期を振り返ろう ・1年間を振り返ろう ・進級に向けて、準備をしよう	○	・個人目標や係活動決め、掲示物の作成 ・修学旅行について ・選挙の基本や仕組みについて ・3学期の学校生活の振り返り ・目標の達成度や今後の課題について ・3年生に進級する心構え等について	・目標を決め、目的意識をもって行動することができる。 ・係活動を決め、主体性をもって取り組むことができる。 ・修学旅行を振り返り、名古屋の歴史や文化について理解を深めることができる。 ・自分の生活に関わることとして、選挙について考えることができる。 ・3学期の学校生活を振り返ることができる。 ・3年生になったら、頑張りたいことを考えることができる。 ・春休みの生活で留意することを確認することができる。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年	2年
教科等名		特別活動(ホームルーム活動)		グループ名	C組
ねらい		・目標をもって生活し、達成のために自覚的に努力し最後までやり遂げる力を育てる。 ・仲間とともに活動する喜びを感じ、協力し合う気持ちを伸ばす。 ・自分たちで意見を出し合い、まとめ、実行する中で自分の役割を果たす力を養う。			
担当教員		○手塚 秀紀 森脇 光司			
予定授業時数		35			
使用教科書					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5 6	・オリエンテーション ・1学期の学校生活を考えよう ・インターンシップに向けて	○	・高等部生活の流れやルールについての確認 ・個人目標や学級目標、係活動決めと、掲示物の作成 ・インターンシップについて	・学校生活のルールなどを確認し、意識することができる。 ・自分や他者に対して、理解を深めることができる。 ・目標、役割に見通しをもつことができる。 ・自分の考えを伝えることができる。	・高等部での生活の決まりを具体的に提示し、ルールの確認する。 ・インターネットを使い、移動教室やインターンシップの行き先について調べる。 ・個人目標を学習、生活の場面ごとに、具体的に設定し、意識を高める。学期ごとに評価する機会を設ける。
7	・1学期を振り返って ・夏休みの過ごし方		・1学期の振り返り ・夏休みの過ごし方	・目標が達成できたか、成果と課題などについて振り返ることができる。 ・夏休みの過ごし方の留意事項を確認することができる。	・話し合い活動や、発表の機会を多く取り入れて、自分の考えを伝えたり友達の見聞を聞いたりする場面を設ける。
9	・2学期の学校生活を考えよう ・現場実習について	○	・個人や学級目標、係などを決めと、掲示物の作成 ・活動内容の確認	・目標、役割に見通しをもつ。 ・自分の考えを伝えることができる。	・進路に関する取り組みは、進路専任の教員と連携して、職業の学習と関連させた指導内容にする。 ・筆記をする活動では、生徒の実態に応じて、見本を提示したり、記入の枠を工夫したりする。
10 11 12	・修学旅行事前学習 ・修学旅行事後学習	○	・修学旅行について	・行程の見通しをもつ。 ・集団生活でのルールやマナーを知ることができる。	・活動や実態に応じて、集団と個別での活動を併用していく。 ・活動を通して友達と協力し合うことや友達の良い所を認め合うような学習を適宜、取り入れていく。
12	・2学期を振り返って ・冬休みの過ごし方		・2学期の学校生活の振り返り ・冬休みの過ごし方について	・目標が達成できたか、成果と課題などについて振り返ることができる。 ・冬休みの過ごし方の留意事項を確認することができる。	・学期末のまとめ活動で、頑張ったことを発表することで、自己肯定感や自己理解力、他者理解力が高まるようにする。
1	・3学期の学校生活を考えよう ・現場実習に向けて	○	・個人目標や係活動決めと、掲示物の作成	・目標、役割に見通しをもつことができる。 ・自分の考えを伝えることができる。	
2	・選挙について知る(主権者教育)	○	・選挙の仕組みについて	・満18歳になったら投票ができること、投票までの流れを知ることができる。	
3	・3学期を振り返って ・1年間を振り返って		・目標の達成度や今後の課題について ・3年生に進級する心構え等について	・目標が達成できたか、成果と課題などについて振り返ることができる。 ・進級へのイメージをもつことができる。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年	2年
教科等名		特別活動(ホームルーム活動)		グループ名	D組
ねらい		・好ましいコミュニケーション方法を意識して、良好な人間関係を築く。 ・目標を意識した行動をし、好ましい態度を身に付ける。 ・係活動を通して役割を果たす気持ちを養う。			
担当教員		○萩野 美咲 渡辺 拓都			
予定授業時数		35			
使用教科書					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5 6 7	・2年生の生活について (オリエンテーション) ・目標・係活動決め ・インターンシップに向けて ・1学期を振り返って ・夏休みの過ごし方について	○	・高等部生活の流れやルールについての確認 ・個人目標や学級目標、係活動決めと、掲示物の作成 ・インターンシップについて ・1学期の振り返り ・夏休みの過ごし方	・高等部2年生の生活の流れを知る。 ・学校生活の基本的なルールを確認する。 ・目標を決め、目的意識をもって行動する。 ・係活動を決め、継続的に取り組む。 ・自分の考えを伝えたり、友達の意見を聞いたりすることができる。 ・1学期の学校生活を振り返る。 ・目標が達成できたか、なぜできなかったかなどを自分で振り返る。 ・夏休みの生活で留意することを確認する。どのように過ごすのか自分で考える。	・視覚的な支援を適宜取り入れる。 ・具体的に分かりやすい言葉を提示しながら生徒自身の意思や言葉を引き出せるように支援する。 ・達成感を感じられるように、具体的な目標設定をする。 ・季節ごとに留意することについてヒントを出しながら考えさせる。 ・達成できなかった目標については、どのようにすると達成できるかを考えるヒントを出す。
9 10 11 12	・目標決め、係活動確認 ・現場実習に向けて ・修学旅行事前学習 ・修学旅行事後学習 ・2学期を振り返って ・冬休みの過ごし方	○	・個人や学級目標、係などを決めと、掲示物の作成 ・活動内容の確認 ・修学旅行について ・2学期の学校生活の振り返り ・冬休みの過ごし方について	・目標を決め、目的意識をもって行動する。 ・係活動を決め、確実に取り組む。 ・自分の考えを伝えたり友達の意見を聞いたりすることができる。 ・2学期の学校生活を振り返る。目標を自分で振り返る。 ・冬休みの生活で留意することを確認する。どのように過ごすのか自分で考える。	・ICT機器を使って、ルールについて確認する。
1 2 3	・目標決め、係活動確認 ・選挙について (主権者教育) ・3学期を振り返って ・1年を振り返って ・進級に向けて	○	・個人目標や係活動決めと、掲示物の作成 ・選挙の仕組みについて ・目標の達成度や今後の課題について ・3年生に進級する心構え等について	・目標を決め、目的意識をもって行動する。 ・係活動を決め、主体性をもって取り組む。 ・自分の生活に関わることとして、選挙について考える。 ・3学期の学校生活を振り返る。 ・1年間の学校生活を振り返る。 ・3年生になったら、頑張りたいことを考える。 ・春休みの生活で留意することを確認する。どのように過ごすのか自分で考える。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年	2年
教科など名		特別活動(ホームルーム活動)		グループ名	E組
ねらい		・目標を立て、その達成を意識し生活する力を付ける。 ・仲間との交流を通して、協力したり、自分の考えを伝え合い他者を尊重したりする気持ちを育てる。 ・自分たちで意見を出し合い、まとめ、実行する中で、役割を果たす気持ちを育てる。			
担当教員		○池原 萌 五十嵐 亮			
予定授業時数		35			
使用教科書					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5 6 7	・オリエンテーション ・個人目標、係活動、委員会を決めよう ・新入生歓迎会事前学習 ・インターンシップ事前事後学習 ・1学期を振り返って ・夏休みの過ごし方	○	・高など部の生活の流れやルールの確認 ・個人や学級目標、係活動決め、掲示物の作成 ・出し物の練習や話し合い ・インターンシップのルールやマナーの確認、日誌の記入など ・目標について成果と課題の振り返り ・夏休みの過ごし方の確認	・高など部2年生の1年間の流れを知ることができる。 ・目標や役割を決め、目的意識や役割意識をもち行動することができる。 ・新入生への歓迎の気持ちをもち、意欲をもって練習に参加できる。 ・インターンシップの流れを理解し、仲間と励まし合いながら事前学習などに取り組める。 ・目標が達成できたか、成果と課題などについて振り返ることができる。 ・夏休みの過ごし方を確認することができる。	・視覚的な支援を取り入れる。 ・話し合い活動では、生徒の主体性を大切にし見守ったり、必要に応じて言葉掛けを行ったりする。 ・目標の設定や振り返りの際は、個別に課題や成果を振り返る時間を作る。 ・タブレット端末を活用し、インターンシップや修学旅行の行き先について調べる。 ・進路に関する取り組みは、進路専任の教員と連携して、職業の学習と関連させた指導内容にする。
9	・個人目標、係活動を決めよう ・現場実習事前事後学習	○	・個人目標や係活動決め、掲示物の作成 ・実習時のルールや身だしなみなどについて、話し合いや意見交換 ・現場実習の目標設定と振り返り ・修学旅行について話し合い	・目標や役割を決め、目的意識や役割意識をもち行動することができる。 ・現場実習の流れを理解し、仲間と励まし合いながら事前学習などに取り組める。 ・互いの意見を伝えあったり聞きあったりし、建設的に話し合いをしようとすることができる。 ・修学旅行の行き先について理解を深めることができる。 ・集団生活や公共の場でのルールやマナーを知ることができる。 ・目標が達成できたか、成果と課題などについて振り返ることができる。 ・冬休みの過ごし方を確認することができる。	
10 11	・修学旅行事前事後学習		・目標について成果と課題の振り返り ・冬休みの過ごし方の確認	・目標や役割を決め、目的意識や役割意識をもち行動することができる。 ・選挙に興味をもち、基本的な仕組みを知ることができる。 ・出し物について話し合い、意欲をもって練習に取り組むことができる。	
12	・2学期を振り返って ・冬休みの過ごし方		・選挙の基本や仕組みの理解 ・3年生を送る会の練習や話し合い ・卒業式練習の参加 ・目標について成果と課題の振り返り	・身だしなみや場に応じた適切な態度について考えることができる。 ・目標が達成できたか、成果と課題などについて振り返ることができる。	
1	・個人目標、係活動を決めよう ・主権者教育	○	・個人目標や係活動決め、掲示物の作成	・目標や役割を決め、目的意識や役割意識をもち行動することができる。	
2	・3年生を送る会事前学習 ・卒業式練習	○	・3年生を送る会の練習や話し合い	・選挙に興味をもち、基本的な仕組みを知ることができる。 ・出し物について話し合い、意欲をもって練習に取り組むことができる。	
3	・3学期を振り返ろう ・1年間を振り返ろう		・卒業式練習の参加 ・目標について成果と課題の振り返り	・身だしなみや場に応じた適切な態度について考えることができる。 ・目標が達成できたか、成果と課題などについて振り返ることができる。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。